

子ども食堂 + くらしサポート



カレーライスをおいしそうに食べる子どもたち



ポッチャなど障がい者入ボーツも体験

地域支援 輪を広げる

大分市の「社会福祉法人ハーモニー」が運営する障がい者支援施設「ハーモニーの森」は子ども食堂「きつちん☆はーもにー」の取り組みを進めている。地域の民生委員や学校、戸次地区社協などに協力を求め、2017年7月に初めて実施した。

大分市の「ハーモニーの森」

「子どもやその家族が気軽に立ち寄り、子どもが「食堂」から「おおいたく」ができる場の提供」が狙いだ。ハーモニーの森では、主に身体障がいのある人が

生活している。その特徴を生かし、ポッチャなどの障がい者入ボーツ体験もプログラムとして取り入れ、子どもと障がい者が一緒に同じ時間を楽しむ工夫をしている。また、大分大学の学生もボランティアとして加わり、大きな力となっている。

二つの取り組みつなぐ

「子どもやその家族が気軽に立ち寄り、子どもが「食堂」から「おおいたく」ができる場の提供」が狙いだ。ハーモニーの森では、主に身体障がいのある人が生活している。その特徴を生かし、ポッチャなどの障がい者入ボーツ体験もプログラムとして取り入れ、子どもと障がい者が一緒に同じ時間を楽しむ工夫をしている。また、大分大学の学生もボランティアとして加わり、大きな力となっている。

事業では、実際に生活困窮者に会い、なぜ生活に行き詰まったのか原因を調べ、状況を把握する。必要であれば、現物支給を行い、公的支援につながるよう支援を行う。その後も生活の自立に向け見守る。

「15年のスタートから今まで30件の相談に取り組みました。最近ではスクールソーシャルワーカーから連絡があるなど、この活動が認知され始めていると感じています。しかし、まだまだ公的支援を受けられずに生活に悩んでいる人はたくさんいます。大分市は、社会福祉法人が、地域のセーフティネットとつながるよう活動を続けていきたい」と事業を担当するコミュニケーションソーシャルワーカーの大嶋宏さん。

「生活環境は子どもの生活に直接影響を及ぼします。また、困っていても、相談場所が分からない方は多いと思います。子ども食堂を通じて、少しでも地域の力になりたい」と子ども食堂の取り組みについて支援課長の荒木崇宏さんは話している。

施設データ

社会福祉法人 ハーモニー

住所 〒879-7761 大分県大分市大字中戸次6042番

TEL (097)597-8818

理事長 室寛志

運営施設(事業所) 障がい者支援施設ハーモニーの森
ケアホームハーモニー(共同生活援助)
相談支援事業所ハーモニー

